

## 2023年度 広域ヨーロッパ研究センター活動報告

### 講演会・研究会・ワークショップの開催

---

共通テーマ：広域ヨーロッパに向ける視点、広域ヨーロッパからの視点 (Perspectives towards and from wider Europe.)

◇「イタリアにおけるガストロミー・ツーリズム (Promotion of Gastronomy Tourism in Italy: A Few Examples)」

ヴェネチアン・マリオ氏 (Prof. Veneziani Mario, パルマ大学)

2023年5月11日(水) 9:00~10:30

経営情報学部棟 4213 講義室

◇「Turkey's experiment in managing superpowers: the Cold War and beyond (超大国と渡り合うトルコの試み：冷戦時代とその後)」

ギョン・クット氏 (ボアジチ大学国際関係学部)

2023年6月14日(水) 10:40~12:10

国際関係学部棟 3317 講義室

◇「Turkey's foreign policy priorities: regional and global challenges (トルコ外交政策の優先順位：地域的・世界的課題)」

ギョン・クット氏 (ボアジチ大学国際関係学部)

2023年6月14日(水) 14:40~16:10

一般教育棟 2103 講義室

◇1973 Oil Crisis and the Cold War (1973年オイルショックと冷戦)

デニズ・クット氏 (イスタンブール・ビリジ大学元非常勤講師)

2023年6月28日(水) 10:40~12:10

国際関係学部棟 3317 講義室

◇「糸で描く物語」

貴家映子氏 (静岡県立美術館学芸課・主任学芸員)

2023年7月14日(金) 10:40~12:10

国際関係学部棟 3107 講義室

◇「スペインの観光産業の潜在能力—複数の観光地を抱える国」 (Descubriendo España como potencia turística mundial: muchos destinos en uno solo)

マルタ・ラグナ (Marta Laguna, バリャドリード大学)

2023年10月16日(月) 13:00~14:30

国際関係学部棟 3317 講義室

◇「スペイン語コミュニケーションの理論と実践：スペイン語のユーモアを理解する」 (セミナー、El reto de reír en español: una aproximación a la lengua y la cultura española a través del humor verbal)

クリスティナ・ベラ (Cristina Vela, バリャドリード大学)

2023年10月16日(月) 10:40~12:10

国際関係学部棟 3107 講義室

◇「編集者の仕事と地域研究」

吉田知子氏 (東京堂出版編集部課長)

2023年12月7日(木) 16:20~17:50

国際関係学部棟 3219 講義室

◇「Cultivating Cross-Cultural Success. Strategies for Effective German-Japanese Team Cooperation」

Prof. Dr. Mayank Kumar Golpelwar

2024年1月23日(火) 10:40~12:10

国際関係学部棟 3107 講義室

### 【WERC 協力事業】

◇合同ゼミ学生発表会の開催 (2023年12月5日、オンライン会議システムと対面のハイブリッ

ド形式による開催、6ゼミの参加、9件の発表、のべ30名の参加)

◇ヨーロッパ留学体験記の作成

◇ブレーメン州立経済工科大学の連続講義

◇日本トルコ外交樹立100周年記念事業への協力

## WERC 公式ウェブサイト (<http://werc.u-shizuoka-ken.ac.jp>) の運営

---

WERCの公式ウェブサイトから閲覧者に提供するサービス向上につとめた。WERCが後援または共催する特別講義や講演会・セミナー等を告知し、センター活動報告書の2023年度分を追加した。「広域ヨーロッパ研究ツールの開発」と連携しつつ、European Studies 共通テキストの資料編・入門編の改訂・増補を継続した。

## 広域ヨーロッパ研究ツールの開発

---

6年計画の広域ヨーロッパ研究ツール開発の6年目に入り、直近の過去2年度分につづいてテーマ設定のための資料集、先行研究を検討するためのテキスト、文献・資料等の所在のガイドブック、議論のまとめとブラッシュアップをうながすための報告会、執筆のためのノウハウ集などの完成を目指した。WERC研究会の開催も継続し、学部・研究科の教育における広域ヨーロッパ研究の成果の反映について情報の交換と共有につとめた。ただし、全体的に成果が十分でないと判断し、研究ツールの開発を2024年も継続することとした。

## 教育関連資料の提供

---

オンライン会議システムを利用し、合同ゼミ学生発表会2023のウェブ中継を実施した。

## 「内なる国際化」および国際交流協定校との学術交流の推進

---

- ・ 留学生と研究員・本学部学生・本研究科大学院生との交流の強化と拡大に向けて、センターが開催する研究会やセンター研究員による講義等での交流や留学生支援を充実させ、協定校との学術交流を推進した。
- ・ ブリュッセル自由大学 (ULB) との学術協力活動について、2024年3月に小窪千早研究員が同大学を往訪し、ULBのヨーロッパ研究所 (IEE) のフレデリック・ボンヤート研究員らと今後の研究交流について意見交換をおこなった。
- ・ ポアジチ大学との学術交流活動を推進し、同大学の教員による特別講義を実施した。
- ・ 国際関係学研究科の大学院生に対して同教員による個別論文指導を実施した。
- ・ ブレーメン経済工科大学との学術交流活動を推進し、同大学の教員によるオンライン講義を開催した。
- ・ バリャドリッド大学との学術交流活動を推進し、同大学の教員による特別講義を実施した。また、同大学教員と学生のスタディツアーを開催した (久能山東照宮、長澤瓦店)。

## WERC 研究会および研究活動にもとづく社会貢献

---

3回の研究会を開催した。

- ・ ギュン・クット (客員研究員) 「トルコ大統領選挙とその影響」 (2023年6月22日)
- ・ 西村晶絵 (研究員) 「アンドレ・ジッドにおける『悪』の問題とその展開の可能性」 (2023年12月6日)
- ・ Prof. Dr. Mayank Kumar Golplewar (ブレーメン経済工科大学) 「Report of ongoing & recent research projects & Discussion on potential future cooperation projects between Shizuoka & Bremen」 (2024年1月23日 (火) 16:30~18:00)

講演

- ・ 浜由樹子 (研究員) 「ロシアのウクライナ侵攻をどう見るか」 日本女子大学附属高等学校特

- 別講座（2023年4月15日）
- ・ 同「ロシア・ウクライナ戦争と歴史・分化」日本大学国際関係研究所講演会（2023年11月29日）
  - ・ 同「ウクライナとロシア—対立の背景とは」静岡市南部生涯学習センター国際関係講座（2023年12月10日）
  - ・ 同「思想史・国際政治・地域研究の交差点—ロシアによるウクライナ侵攻のイデオロギー分析」上智大学ハル濱学院顕彰基金講演会（2024年1月10日）
  - ・ 同「静かな同調、変化の微動—その後」日本国際問題研究所公開セミナー「ウクライナ戦争とロシアのゆくえを論じる」（2024年3月7日）
  - ・ 同「ロシアの思想・政論における『ユーラシア』概念」ユーラシア研究所第36回総合シンポジウム（2024年3月9日）
  - ・ 小窪千早（副センター長）「欧州統合の現在と欧州の安全保障政策」静岡県立大学公開講座（2023年10月7日）

#### 取材への対応

- ・ 浜由樹子（研究員）
  - 2023年6月29日 TBS ラジオ 荻上チキ Session 「プリゴジンの乱」 ニュース解説
  - 2023年8月23日 NHK ラジオNらじ「ウクライナ侵攻から1年半ロシア国民の意識」
  - 2023年8月28日 BBC 制作ドキュメンタリーのDVD化についてのヒヤリング
  - 2024年3月18日 NHK ニュース7 「ロシア大統領選挙」コメント
- ・ 森直香（研究員）
  - 2023年9月20日 『読売新聞』「今日のノート 一線超え『退場』」女子ワールドカップ表彰式におけるスペインサッカー連盟会長によるハラスメント行為に対するコメント

## トルコ・シリア震災支援活動

---

### 【募金活動】

第3弾 2023年4月27日～9月末日 37,568円



特別講義  
**編集者の仕事と  
 地域研究**

講師  
 吉田 知子氏  
 (東京堂出版 編集部課長)

2023年12月7日(木)  
 16:20~17:50  
 国際関係学部棟 3219 教室

高校時代に映画を介してロシア語と出会い、日本女子大学卒業後ロシアに留学。モスクワ大学で修士課程修了。在モスクワ日本大使館での勤務やフリーの通訳・翻訳業などを経て、帰国後出版社に就職。専門性を活かし、次々とロシア関係の話題の書を手掛けてきた。本を作るという仕事の意味、地域研究の「その先」について考える。

広域ヨーロッパ研究センター共催  
 問い合わせ先：国際関係学部 浜 由樹子(yhama@u-shizuoka-ken.ac.jp)

特別講義  
**糸で描く物語**  
 刺繍と、絵と、ファッションと。  
 2023年7月14日 10:40  
 国際関係学部棟 1階 3107 講義室

講師：貴家 映子氏 (静岡県立美術館 上席学芸員)  
 展覧会「糸で描く物語——刺繍と、絵と、ファッションと。」の担当学芸員

ミーティング ID: 882 5451 4206  
 バスコード: 694648  
 主催：広域ヨーロッパ研究センター  
 問い合わせ先：国際関係学部・栗田